



「新幹線における保線業務及び組織の見直しについて」提案を受ける！

JR 東労組新幹線協議会は6月7日、新幹線統括本部より「新幹線における保線業務及び組織の見直しについて」の提案を受けました。以下、提案内容です。

提案内容

1. 実施事項

(1) 検査体系の変更(業務の見直し)

- ・新幹線線路設備モニタリング車を導入し、新たな検査体系を構築する。
- ・新幹線車両センター内でいかんしている業務を拡大する。

2. 実施箇所

各新幹線保線技術センター

3. 実施時期

2024年4月以降

4. スケジュール

	2023年度	2024年度	2025年度
検査体系の変更	▽提案 準備期間	▽順次実施	
メンテナンス体制の変更	▽提案 準備期間	▽順次実施	

5. その他

- ・具体的な実施時期は決まり次第お知らせする。
- ・施策実施に向けた教育、訓練等の必要な準備等を進めていく。

議論で示された主な内容

- ・今施策は人口減少に伴う社会構造の変化や営業収入の減少等の価値観の変化、設備の老朽化等の環境変化に対応し、生産性と働きがいの向上を目的としている。
- ・派出の配置の見直しについては、現場への行きやすさなどを考慮した。規模感については改めて示す。
- ・新幹線線路設備モニタリング車を4台導入する。24年下期頃を目指し、あらたに製造していく。

新幹線の安全を守るために職場から議論をつくり出そう！